

令和7年度第1回 三鷹市環境保全審議会議事録（要旨）

開催日時：令和7年8月27日（水） 午後4時45分から6時
三鷹市公会堂さんさん館3階 第1～3会議室

<出席委員>

志賀委員、荻野委員、荒井委員、有馬委員、藤沼委員、利谷委員、原委員、おばた委員、石井委員、半田委員、平井委員、塚狹委員、近藤委員

<傍聴人>

1人

<次第>

- 1 委員委嘱
- 2 委員自己紹介
- 3 会長あいさつ
- 4 市長あいさつ
- 5 事務局より事務連絡
- 6 議事
 - (1) 三鷹市環境基本計画2027の進捗状況について
 - (2) 三鷹市の環境保全の取り組みについて
 - (3) その他

<配付資料>

- 資料1 三鷹市環境基本計画2027の進捗状況について
資料2 令和7年度環境保全のあらまし(令和6年度実績報告書)

<議事内容（要旨）>

- 1 三鷹市環境基本計画2027の進捗状況について
- 2 三鷹市の環境保全の取り組みについて

議事1及び2は関連があるため、合わせて進行

◇環境政策課長：資料1及び2により、三鷹市環境基本計画2027の進捗状況、三鷹市の環境保全の取り組み状況について説明。

◆委員1：公共用の井戸は、実際に使用されているのか。

◇環境政策課長：普段飲用として使用されてはならず、災害時の利用を想定している。

◆委員2：資料1の環境目標1にある、「市の助成対象設備による二酸化炭素の年間削減量」は、その設備設置に要する金額のうちの助成額分の割合のみ、削減量に加算されるのか。

◇環境政策課長：市の助成を受け設置された対象設備による削減量全量を加算している。

◆委員 3：環境保全のあらまし P18 で、学校における温室効果ガス排出量が多い。中原小学校の建て替えに伴いどのようなようになるかという点も考慮しているか。

また、環境目標 3 の地下水水質調査について、震災用井戸も含めて調査して PFOS 及び PFOA が 7カ所超過した。今後どのようにしていくのか。

環境目標 4 の学校給食における市内産農産物使用率について、気候変動の影響で減少しているということだが、この点もどのように考えているか。

◇環境政策課長：P18 の温室効果ガスの排出量については、過去の実績に基づき算定されるため、現状の建物についての結果となる。中原小学校の建て替えについては、温室効果ガス削減に配慮した建物を検討することになる。

PFOS 及び PFOA については、その製造や使用が既に禁止になっている。そのため市としては、継続した調査を行い、状況を確認していくことが重要であると考えている。公共施設では目標値を超過しているものはなかったが、目標値を超過しているところなどは、調査結果を継続して注視していきたい。

◇生活環境部長：市内産農産物については、東京都と連携しながら、暑い中どのように栽培していくか、研究を始めている。品種についても、暑さに強い品種にしていくなど、農家の方と一緒に考えていかなければならない。

◆委員 3：中原小学校について、体育館に輻射熱を活用したシステムの導入は考えているか。災害時も効果があると聞いている。

◇生活環境部長：現在基本コンセプトの段階である。「ZEB ready」なども、コストの問題がある中で、どこまでできるのかということも考えていくことになる。